

平成27年度第11回長野市公共施設適正化検討委員会 議事録	
開催日時	平成27年11月24日(火) 15:00~17:10
場 所	長野市役所第一庁舎8階 第一委員会室
出席者	<p>[委員] 松岡委員長、神田副委員長、太田委員、片山委員、清水委員、中屋委員、西堀委員、西村委員</p> <p>[事務局(行政管理課)] 寺澤総務部長、丸山行政管理課長、村上行政管理課長補佐兼公共施設マネジメント推進室長、大塚行政管理課長補佐、渡辺政管理課係長、上條行政管理課主査</p> <p>田中保健福祉部長、藤沢教育次長、増尾第一庁舎・長野市芸術館建設事務局長、中澤健康課長、平林生涯学習課長、安塚第一庁舎・長野市芸術館建設事務局長補佐、小林地域活動支援課長補佐、藤森健康課長補佐、丸田生涯学習課長補佐、小林生涯学習担当係長、広瀬地域活動支援課主査</p> <p>[事務局支援] 一般財団法人長野経済研究所：中村部長代理、山岸研究員、藤原研究員</p>
議 事	<p>1. 議 事</p> <p>(1) 芹田地区の公共施設整備について</p> <p>(2) 長野市公共施設再配置計画等の策定について</p>

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 現地視察
【新第一庁舎及び長野市芸術館の視察】
- 4 議 事
審議事項
 - (1) 芹田地区の公共施設整備について
 - (2) 長野市公共施設再配置計画等の策定について
 - (3) その他
- 5 閉会

【開 会】

委員長あいさつ

〔松岡委員長からあいさつ〕

〔新長野市第一庁舎及び長野市芸術館の視察〕

議 事

(1) 芹田地区の公共施設整備について

〔資料により、芹田地区の公共施設整備について、事務局より説明〕

委員長 質問、意見又は要望等ありましたらお願いします。

委員 新公民館の料理教室又は市保健所の栄養指導室の兼用を検討と書いてあるのですが、使う用途がほぼ同様だから可能なのでしょうか。

委員長 保健所の2階に栄養指導室というものがあり、そちらは全市的な食品の栄養指導の目的で使っているのですが、空いていることがありますので現状は兼用可能です。

委員 栄養指導室を地元の方が使うときは基本的には事前に予約が必要であって、それで使用できるということでしょうか。

事務局 おっしゃるとおりで、事業・料理やる場合にはあらかじめ日にち決めて予約していただいております。

委員長 ちなみに稼働率はどのくらいなのでしょう。

事務局 保健所の栄養指導室は3割ですが、使わないときには会議室としても使っていますので、もう少し上がります。

委員長 会議室として、前から使っているのですか。

事務局 本来の会議室もあるのですけれども、稼働率が高く、やむを得ない場合に栄養指導室を使っています。

委員 そこに従事することで、全体の職員が増えるのですか。

事務局 保健師の数は増やさないで対応しようと考えています。

委員 保健所の隣にフルネットセンターがあるのですが、他の施設の検討はされたのですか。

事務局 2ページ目の地図で、500mの半径から外れている中央隣保館あるいはフルネットセンター、サンライフ長野がありますが、これらの施設もいずれは建替えなど、いろいろなことを考えていかないといけないものですから、芹田地区の公共施設の整備の中で、合築、複合化あるいは多機能化ができないか検討してきました。ただし、いろいろな制限や諸事情があり、今回は支所、公民館、中部保健センターの整備ということだけに特化した形になってはいますが、ここに行きつくまでには様々な検討をしてきたという経過があります。

委員 長野県と長野市が保健所の共同をしたりということになるとは思いますが、厳しい財源の中で展開していくのであれば、今回のように枠を拡大してもいいのではないかと気がします。

事務局 県と保健所の共同については、検討の緒に就いたところで、事務局を構えて両方の

職員が入る施設を考えると、保健所の周辺の建物を有効活用していくということが考えられると思います。

フルネットセンターについては、所期の目的を達しつつあり、近い将来は施設は廃止してもいいのかなと考えているところです。その後どうするのかということについては、保健所の機能の強化、あるいは県の保健所と共同設置した場合の候補となるかということも認識の下に検討することになります。

委員 保健センターの機能ですけれども、現在はどのようになっていますか。

事務局 芹田地区、第3、第4、第5地区は、安茂里にございます西部保健センターの管轄区域ということで、そちらで事業を行っています。西部保健センターは規模が過大で、いろんな検診の回数が多くあり、きめ細かな部分がカバーできない懸念もありますので、メッシュを細かくしていきたいと考えています。

太田委員 西部の保健センターは、相当良い建物ですよ。芹田地区、第3、第4、第5地区を抜いたら、あとはどうするのですか。

事務局 引き続き、安茂里を中心として、今まで通りの使い方をしていきます。完全に空く部屋があるわけではないので継続して使っていくことに変わりはありません。保健センターの数からいうと、中核市で1番です。それだけ対人保健サービスとして、きめ細やかにやっているということなのです。それだけではないのですけれども、健康長寿とか平均寿命が全国トップクラスであるということに、つながっていると思います。

委員長 そういったきめ細かい対応をされていて、他の市町村と比べるとこういったメリットがありますよ、子育てするなら長野市ですよというような、情報発信はどういった形で行っているのですか。

清水委員 情報発信はしています。

委員長 他の市町村より有利だということをどんどん発信していくような機運を盛り立てていただければありがたいです。
他にいかがでしょうか。よろしければ次に移ります。

(2) 長野市公共施設再配置計画等の策定について

〔資料により、長野市公共施設再配置計画等の策定について、事務局より説明〕

委員長 質問、意見又は要望等ありましたらお願いします。

清水委員 若槻地区というのは、昔から住んでいる人たちと新しい住民がいます。両方からニーズを聞かないと偏った結果になり、住民の求めているものと違うものになってしまうかもしれないので、新興住宅街もあることを考慮いただければと思います。

事務局 配慮します。

委員 個別に大岡地区と出ていますが、大岡地区だけ先行して動いてしまって、その両側

にある合併町村のことを考えなくていいのだろうかと思うのですが。

事務局 大岡については候補の1つということであり、都市計画サイドの話の中で、大岡地区をモデル地区として小さな拠点づくりをパイロット的に取り組むという市の方針が出ているので、そこと連携し、相乗効果が出るように期待して候補として挙げておりますが、まだ未定という状況です。

委員長 小さな拠点づくりのモデルとして大岡地区なのですが、他の地域は次の候補になるまで待っているのか、それぞれの地域でそういったもの作るようになるのか、どうなるのでしょうか。

事務局 大岡を中山間地域のモデルとして、何パターンか将来の地域づくりに向けたものを用意し、地元の皆さんからいろいろな意見をお聞きして進めていきたいと思っています。他の中山間地域でもほぼ同じような形でできるのではないかと考えていますので、これを1つのモデルとして水平展開できるところはしていきたいと思っています。

委員 中条、信州新町などを小さな拠点で1つにまとめると、旧村の考え方がそのまま残ってしまって、長野市一体の考え方がその分だけ後退してしまうのではないかと思います。

事務局 歴史が地域それぞれにありますので、指針にもあるように地域の特性は大事にしていきたいと考えています。

委員 そうすると、旧自治体ごとに小さな拠点づくりをするというイメージを意識づけるということにならないでしょうか。

事務局 地区別に住民自治協議会を立ち上げて、市と一緒に地域づくりを考えている最中なもので、今のところは地区単位で考えていくことが適当だと思っています。ただ、施設を集約するという基本的な考え方は共通の認識にしていきたいと思っています。施設を集約して、学校の近くに行けば何でもあるという形になり、その近くに住民が増えるという形になれば、理想だと思っています。

委員 小さな拠点づくりは、行政、金融、医療・福祉、商業・物流といったものをワンパッケージにして、一定の地域に集約をして利便性を図っていくということだと思っています。やはり、1つの具体的な検討課題にしていかざるを得ないという気がしますし、中山間地域のみならず、平坦地の集落をどうしていくのかということも1つの課題だと思っています。

事務局 モデル事業については、複数の比較検討をしていきますが、それ以外の地区を検討しないということではなく、再配置計画の中で検討していきます。

委員長 まずはモデル事業をやってみてという段階ということですかね。それでは、これにて審議を終わらせていただきます。

【開 会】

事 務 局 第12回検討委員会の開催については、改めてご通知します。以上をもちまして、「第11回長野市公共施設適正化検討委員会」を閉会します。